

経営比較分析表（令和3年度決算）

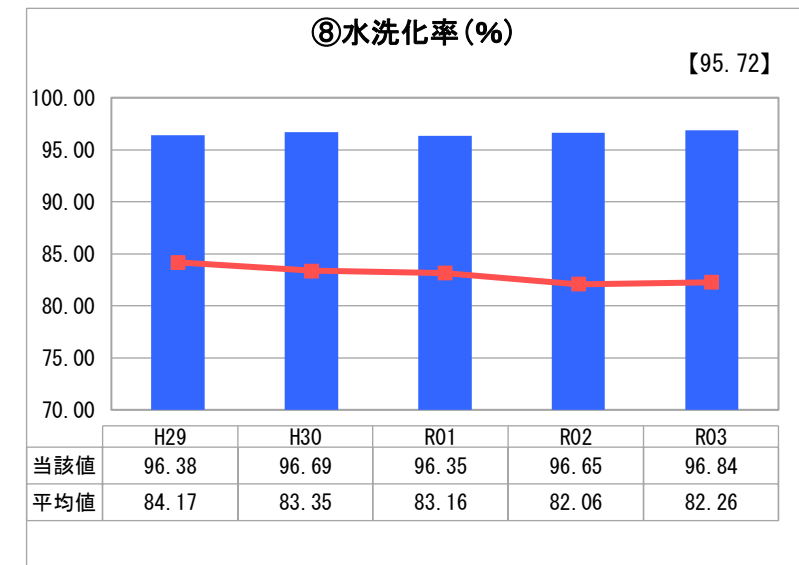
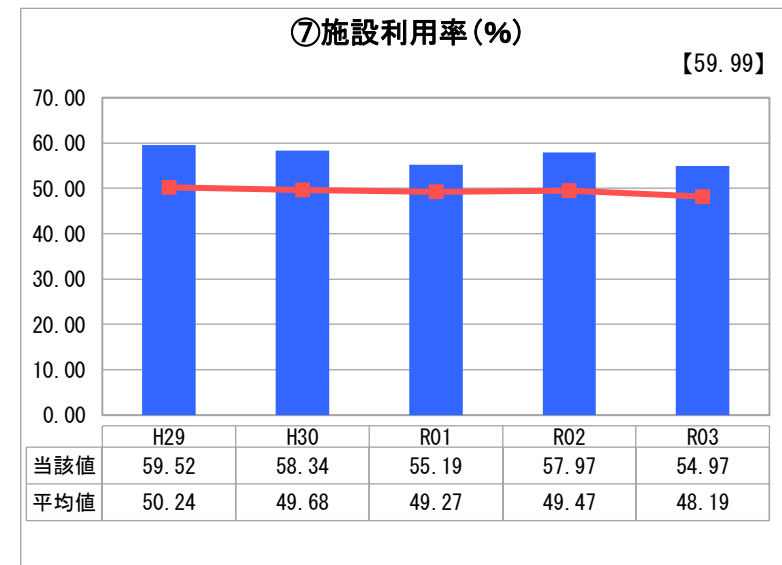
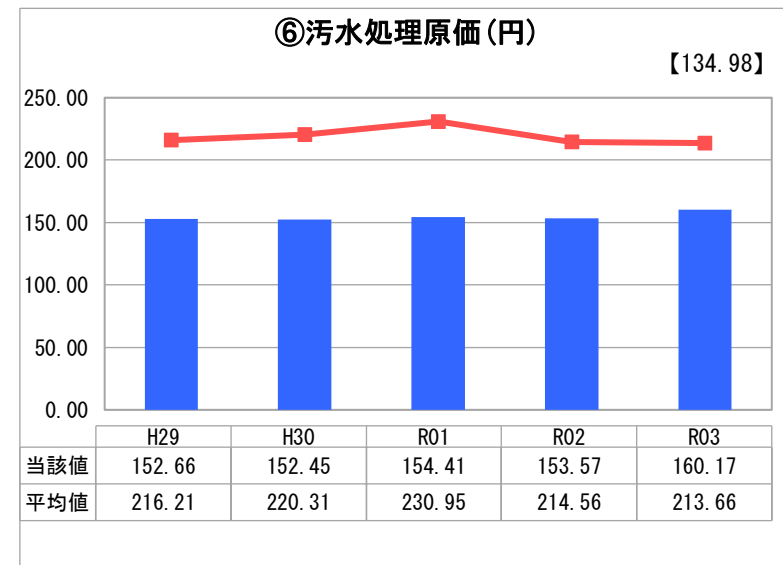
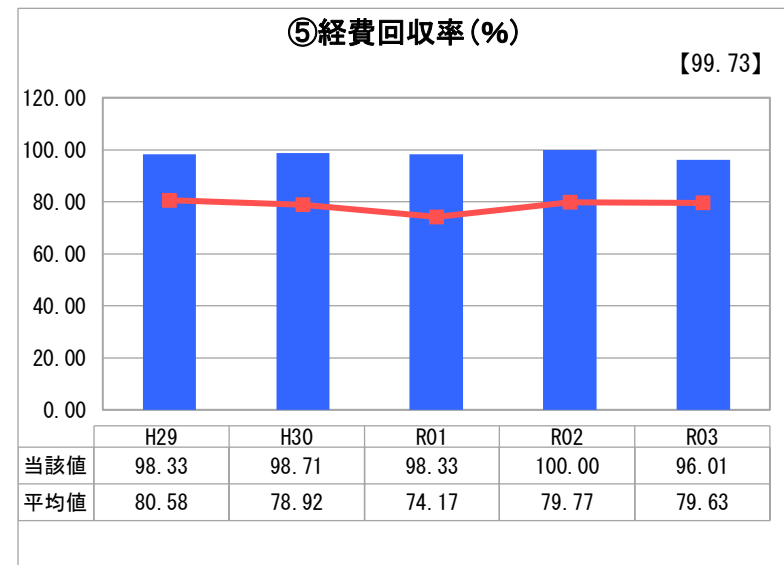
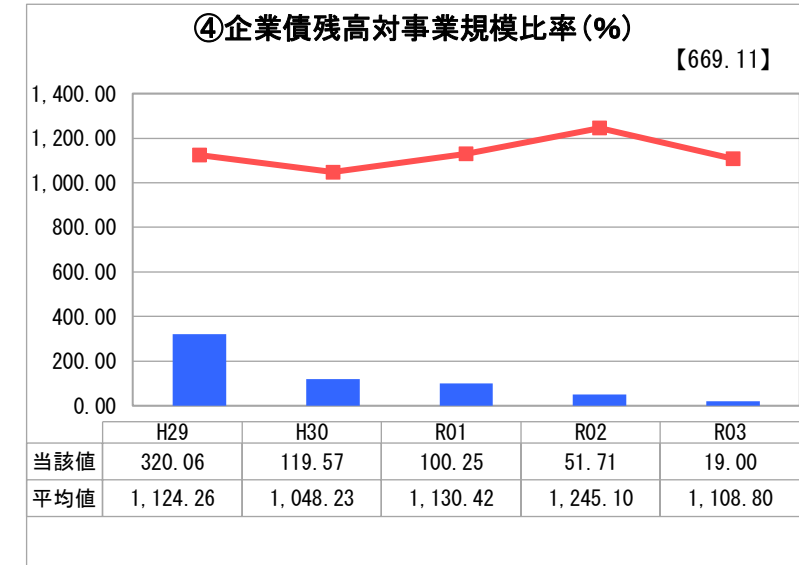
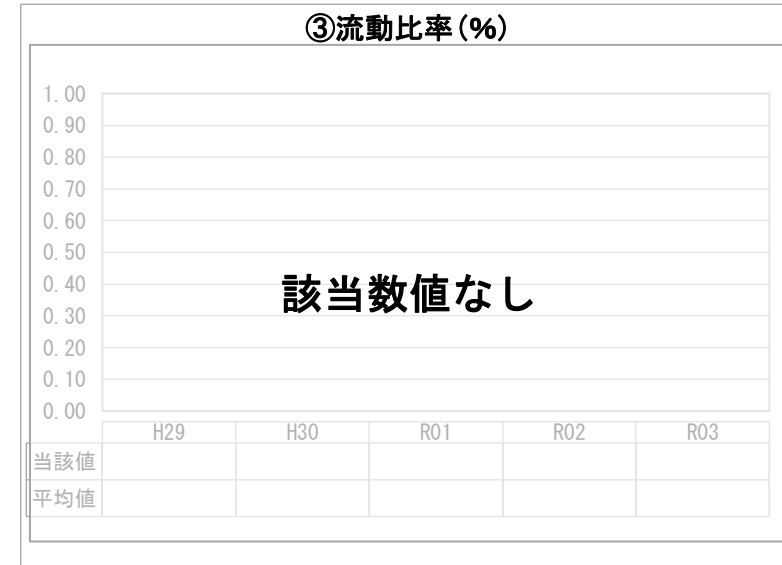
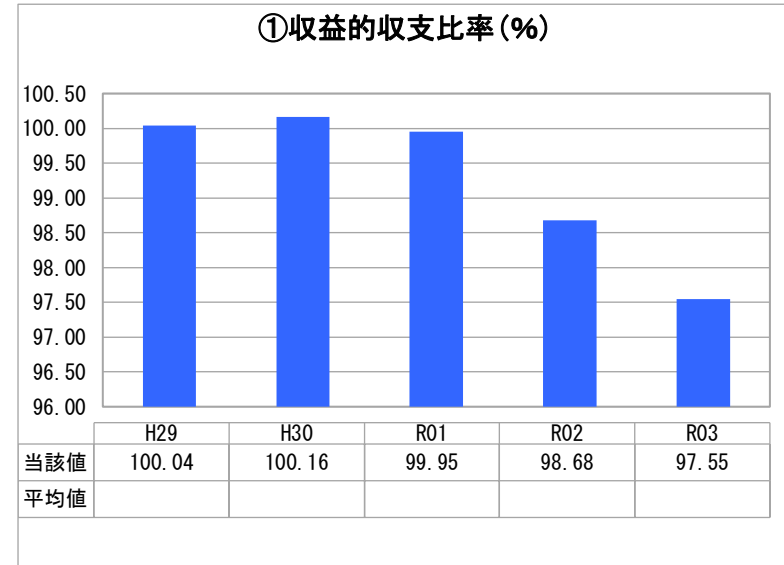
北海道 美深町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	79.52	72.44	2,940

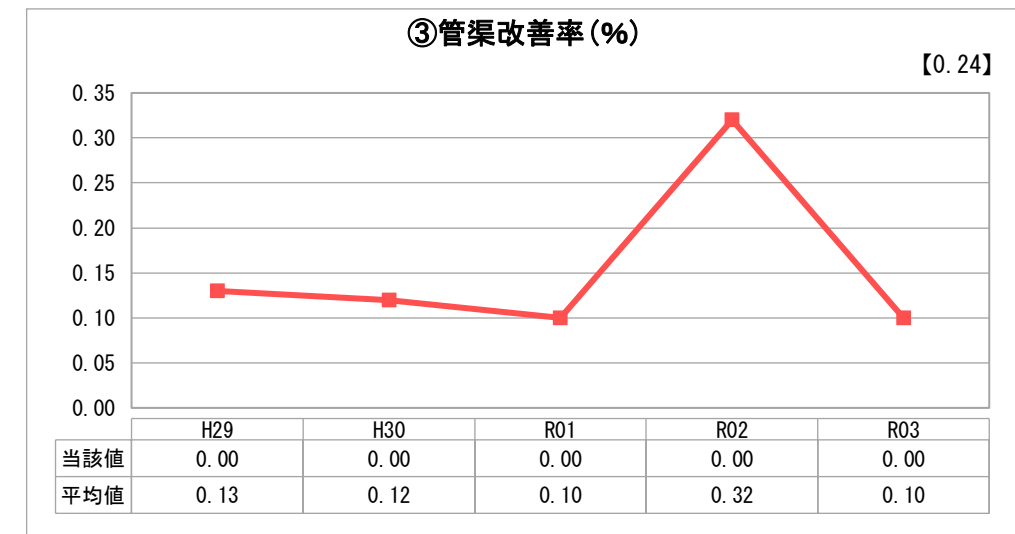
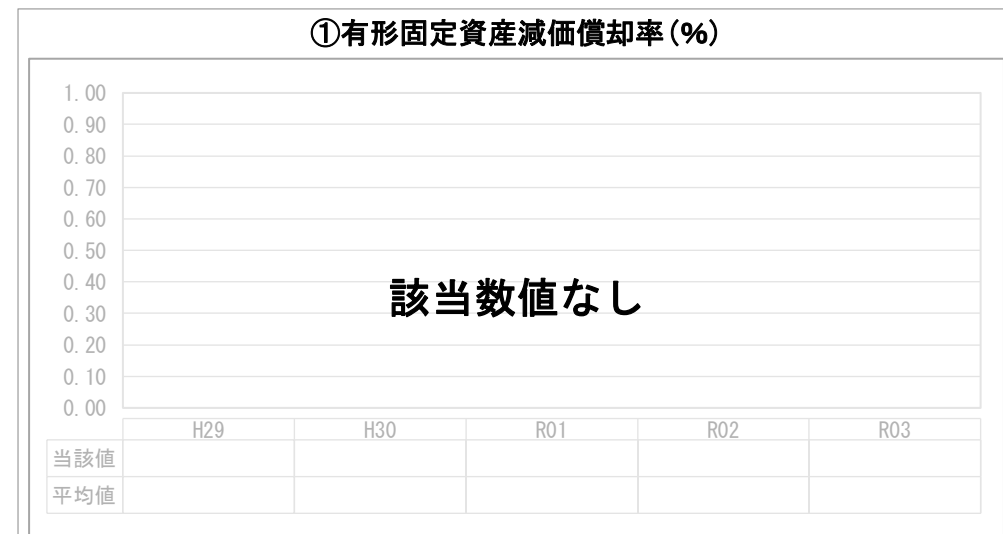
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,991	672.09	5.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,134	2.12	1,478.30

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、使用人口の減少に伴い下水道使用料も減少してきており、一般会計からの繰入金への依存が増えてきていることが伺え、悪い傾向である。

企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値以下であり、自己資金調達率が高いことがわかる。

経費回収率については100%に近いことから、料金の収益性が良いことを表している。

汚水処理原価については、類似団体平均値以下であり、処理にかかる費用が少ないので良い傾向である。

施設利用率については、類似団体平均値以上であり、施設利用の効率が高く良い傾向である。

水洗化率については、類似団体平均値以上であり、多くの町民に対し衛生的な環境が提供されていることが伺える。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、改善計画が樹立されていないことから改善率がゼロとなっているが、以前に行った管渠ストックマネジメント計画策定業務により得られた管路の状態を踏まえ、今後の改修計画を作成していく。

全体総括

全体として経営状況は良好であるが、今後も引き続き想定される使用人口の減少などを考慮すると、いつ経営が悪化するかわからない状況である。今後は、令和6年4月より開始となる公会計化に向けた準備作業を進める。また、公会計化により会計の見える化を進め、適正な受益者負担について下水道利用者に理解を求めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。